

2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

本県の林業経営体は237経営体となっており、保有林規模別では、集約化が進み30ha以上の経営体が総数の47%を占め、前回調査より6ポイント高くなっている。また、組織形態別では、法人化していない経営体が70%を占めている。

保有山林規模別 林業経営体数

令和7年	3ha未満	3ha～5ha	5ha～10ha	10ha～20ha	20ha～30ha	30ha～50ha	50ha～100ha	100ha以上	保有山林無し	合計
林業経営体数	7	16	37	33	23	19	22	70	10	237
割合(%)	3.0	6.8	15.6	13.9	9.7	8.0	9.3	29.5	4.2	100.0

(2025年農林業センサス)

組織形態別 林業経営体数

令和7年	森林組合	その他法人	地方公共団体 ・財産区	法人化 していない	株式会社	合計
林業経営体数	19	7	13	166	32	237
割合(%)	8.0	3.0	5.5	70.0	13.5	100.0

(2025年農林業センサス)

林業経営体数

令和7年	全国	和歌山		全国順位			
		順位	シェア(%)	1位	2位	3位	
林業経営体数	23,300	237	34	1.5	北海道	宮崎	岩手

(2025年農林業センサス)

2) 森林資源・林業生産基盤

地域別・森林面積（令和7年4月1日現在）

県の森林面積360,981haのうち、国有林は4.7%、民有林は95.3%です。県の森林面積の57.7%が人工林です。

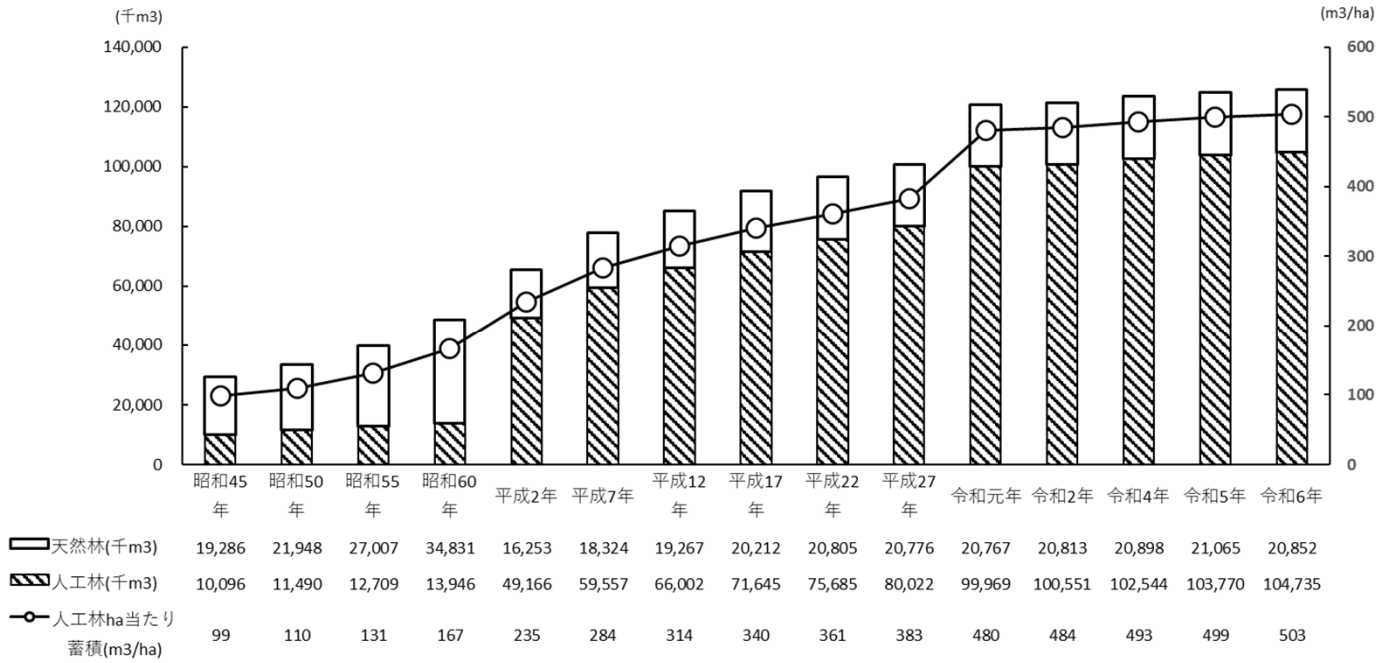
	海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁	全県
森林面積合計(ha)	20,075	12,043	33,312	33,225	51,595	126,780	83,950	360,981
国有林(ha)	436	273	2,219	689	1,907	8,804	2,578	16,907
民有林(ha)	19,640	11,770	31,093	32,536	49,688	117,976	81,372	344,074
人工林(ha)	7,883	5,675	22,777	21,738	24,461	78,425	47,255	208,214
天然林(ha)								129,197
その他(ha)								6,663

(県林業振興課業務資料)



地域森林計画対象森林における森林資源の推移

戦後植林された森林資源が成熟している。

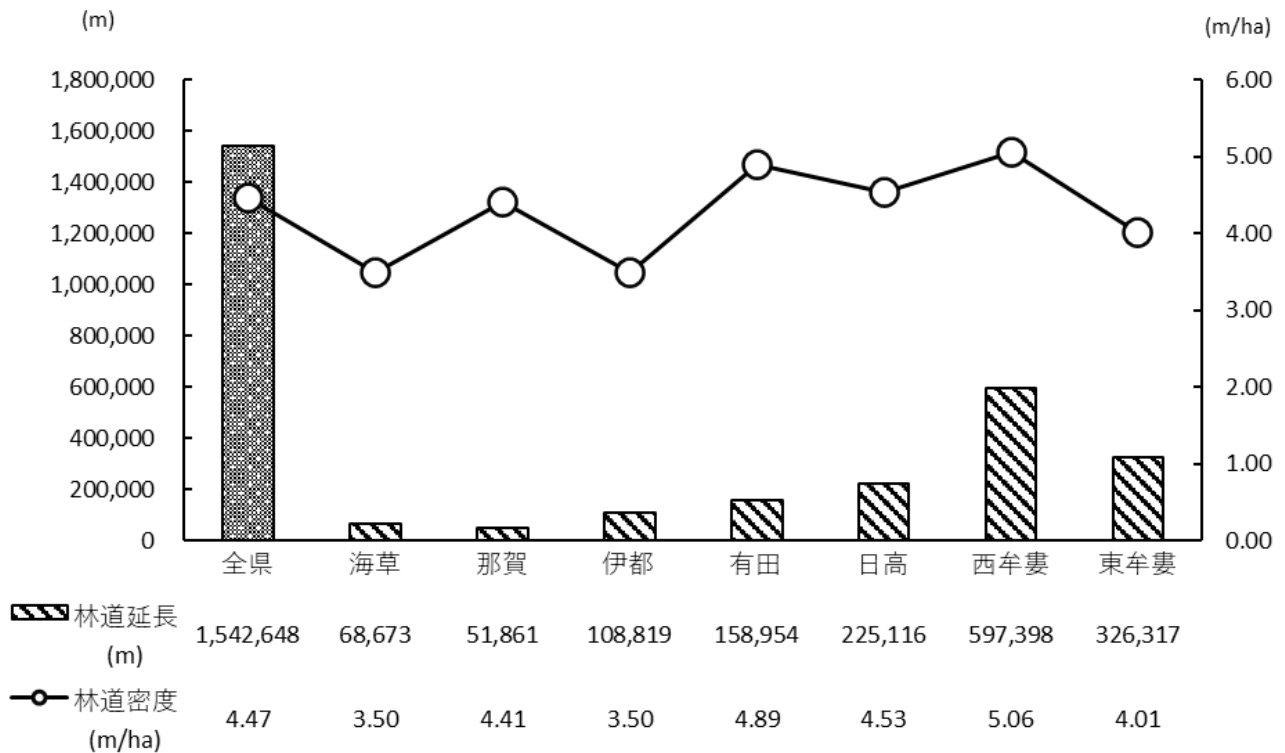


※平成29年に人工林（スギ・ヒノキ）に関する林分材積表等各種資料の改訂を行ったため、人工林材積が大幅に変化している。

(県林業振興課業務資料)

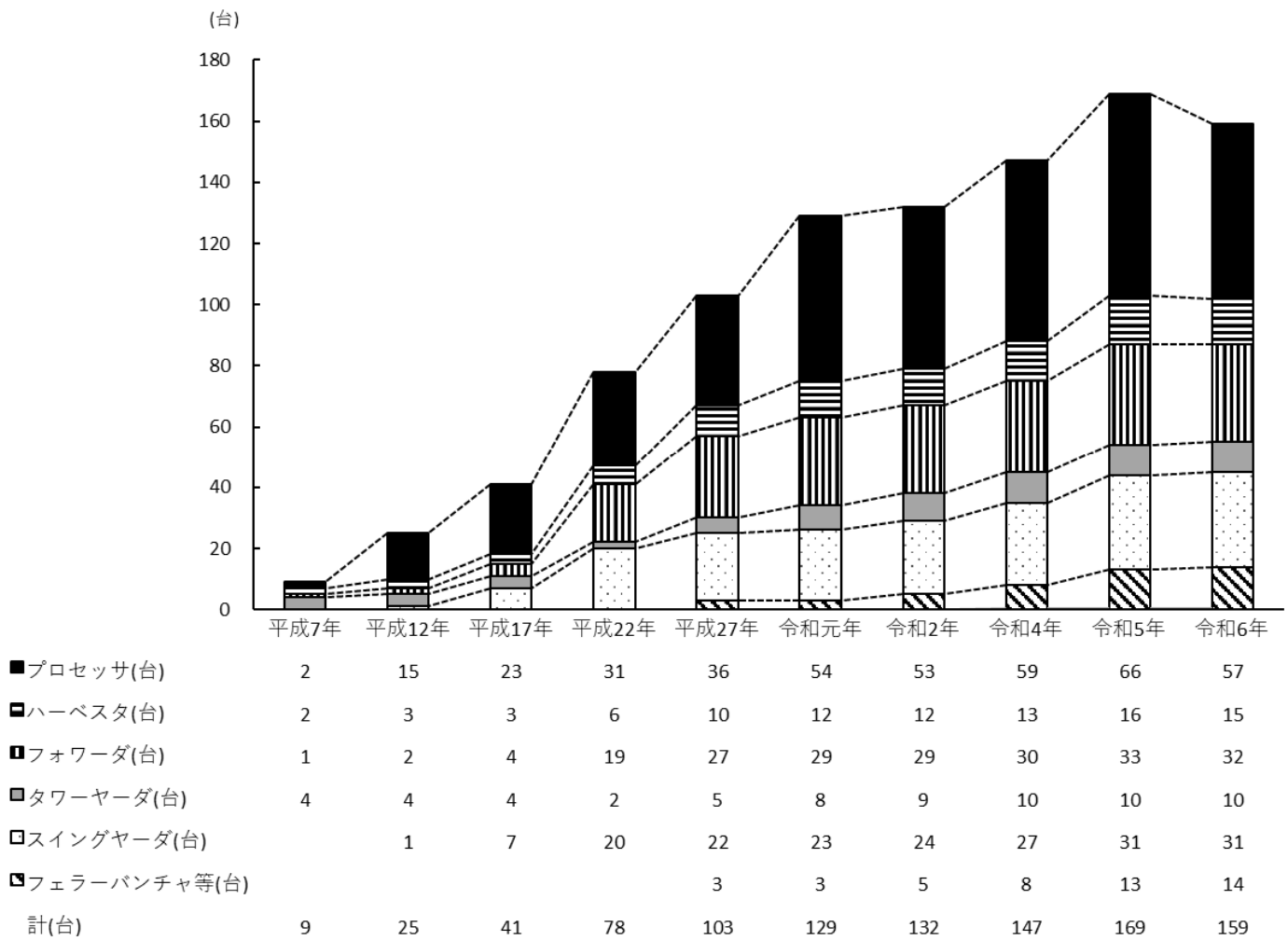
地域別民有林林道延長及び林道密度（令和7年3月31日現在）

生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



(県林業振興課業務資料)

低コスト林業を推進するため、高性能林業機械の導入を進めている。

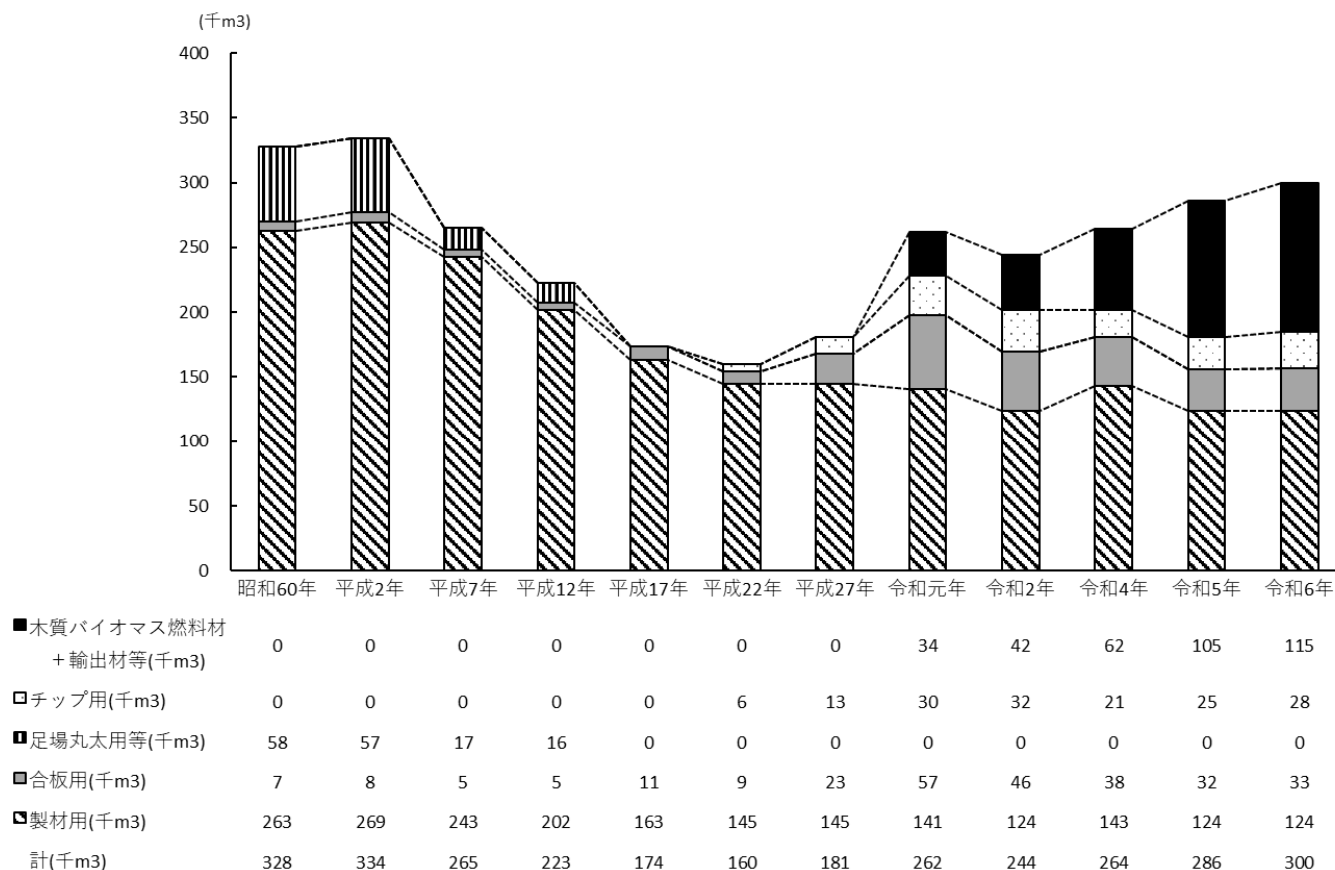


(県林業振興課業務資料)

3) 林業生産

令和6年の素材生産量は前年比4.9%増加した。合板工場の受け入れ制限や、住宅着工戸数の減少による影響を受けて、製材・合板向けの出荷が減少し、バイオマス向けの出荷が伸びている。

用途別素材生産量の推移



※平成28年から木質バイオマス燃料材+輸出材等を集計に追加しました。

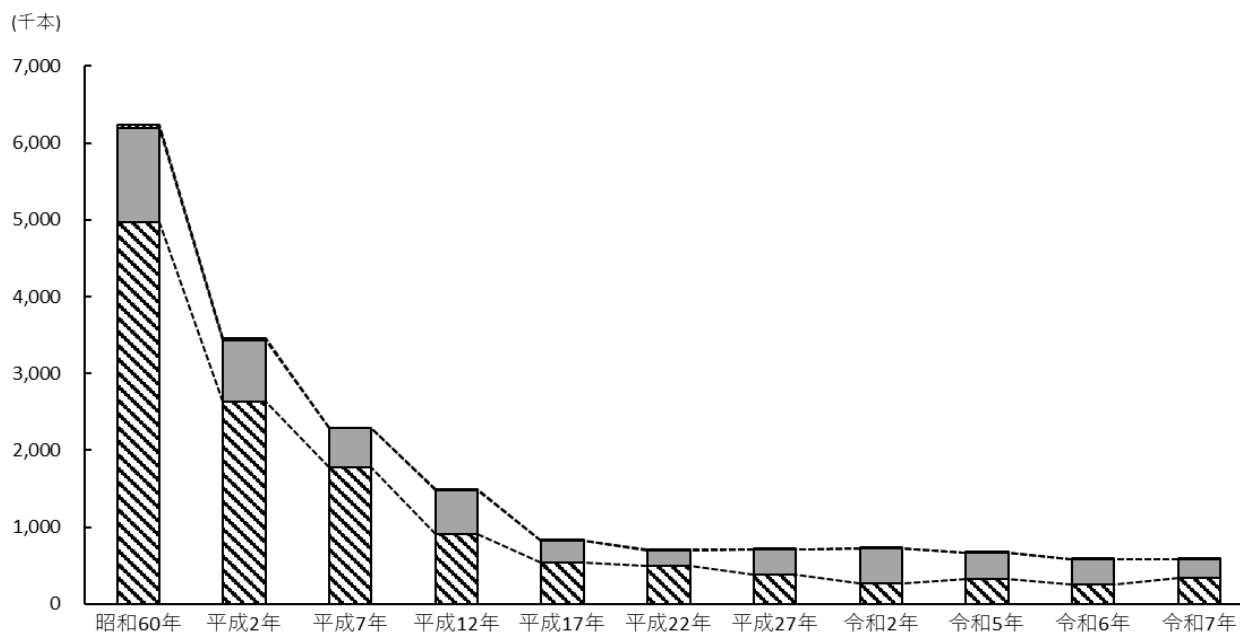
(木材需給報告書、木質バイオマスエネルギー利用動向調査、県林業振興課業務資料)

樹種別素材生産量 (令和6年)

	針葉樹			広葉樹等	合計
	計	すぎ	ひのき		
素材生産量 (千m3)	294	185	109	6	300
割合 (%)	98.1	61.6	36.5	1.9	100.0

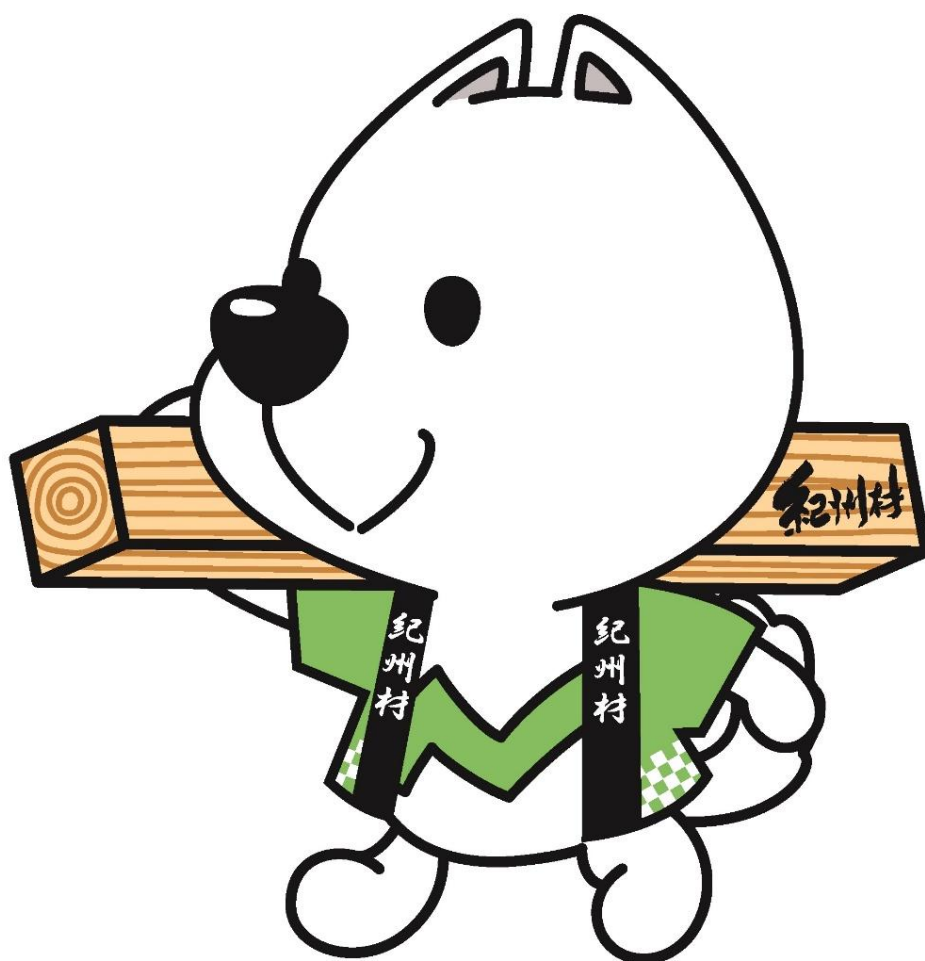
(県林業振興課業務資料)

山林用種苗生産本数の推移

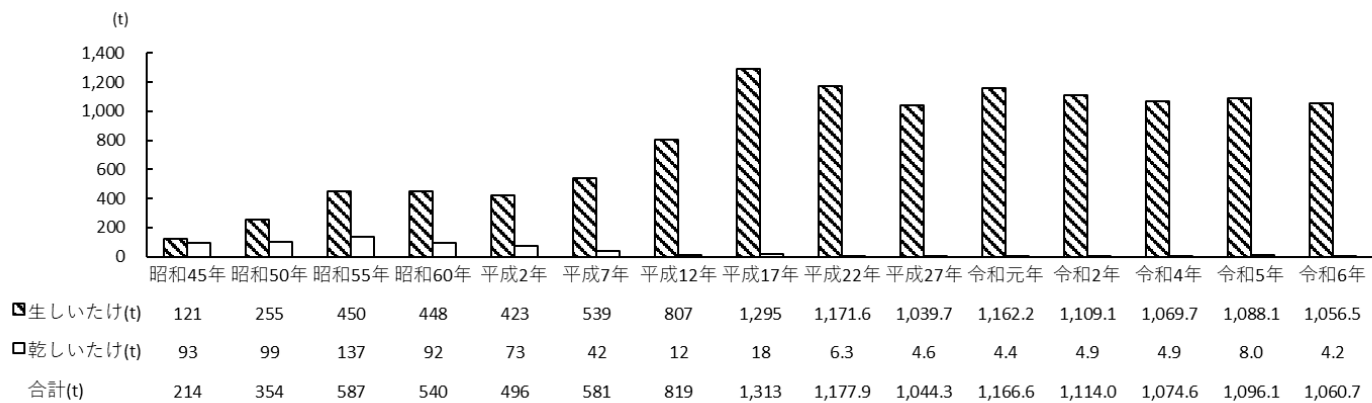


	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年	令和6年	令和7年
■まつ(千本)	35	22	0	13	6	7	8	3	1	1	1
■すぎ(千本)	1,229	799	513	572	282	205	327	458	339	330	233
■ひのき(千本)	4,967	2,635	1,773	914	543	492	379	270	329	249	344
計(千本)	6,231	3,456	2,286	1,499	831	704	714	731	669	580	578

(県森林整備課業務資料)

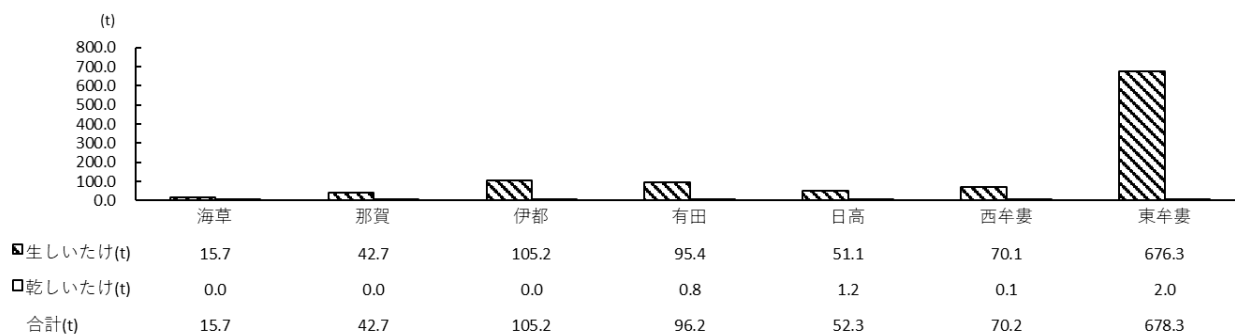


しいたけ生産量の推移

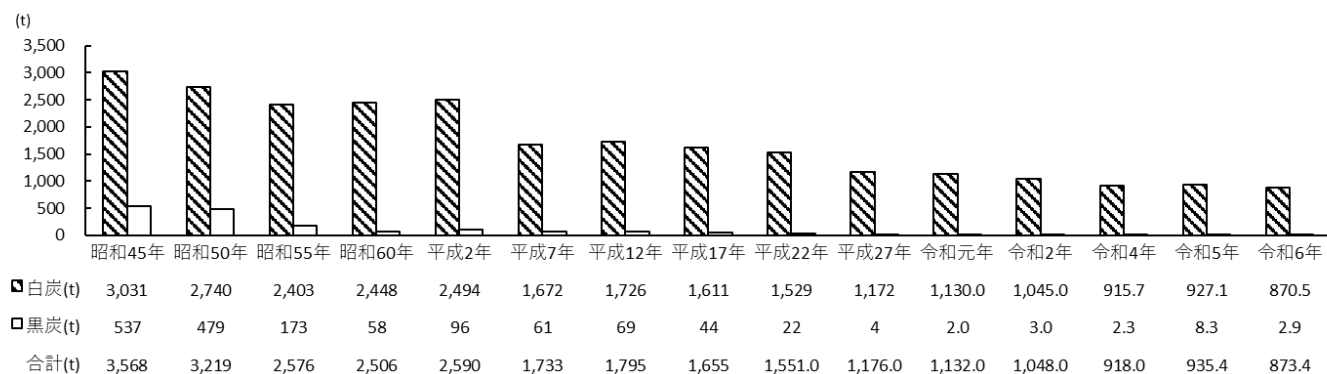


(昭和45年～平成17年は四捨五入で整数にしている。)

地域別・しいたけ生産量（令和6年）

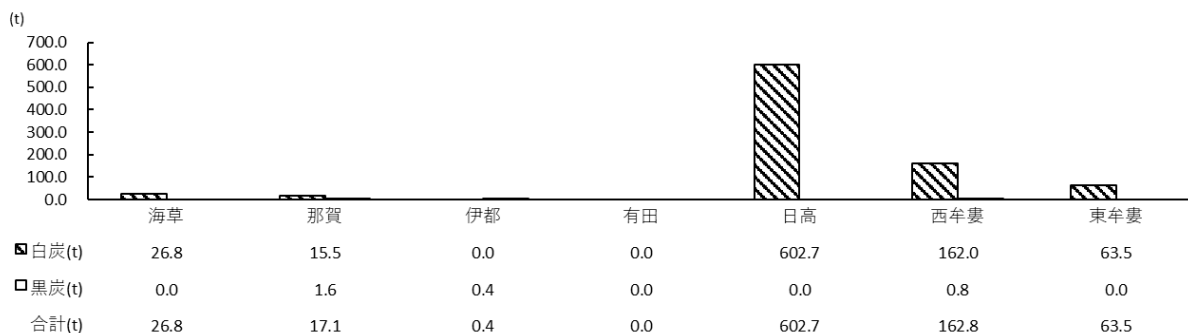


木炭生産量の推移



(昭和45年～平成27年は四捨五入で整数にしている。)

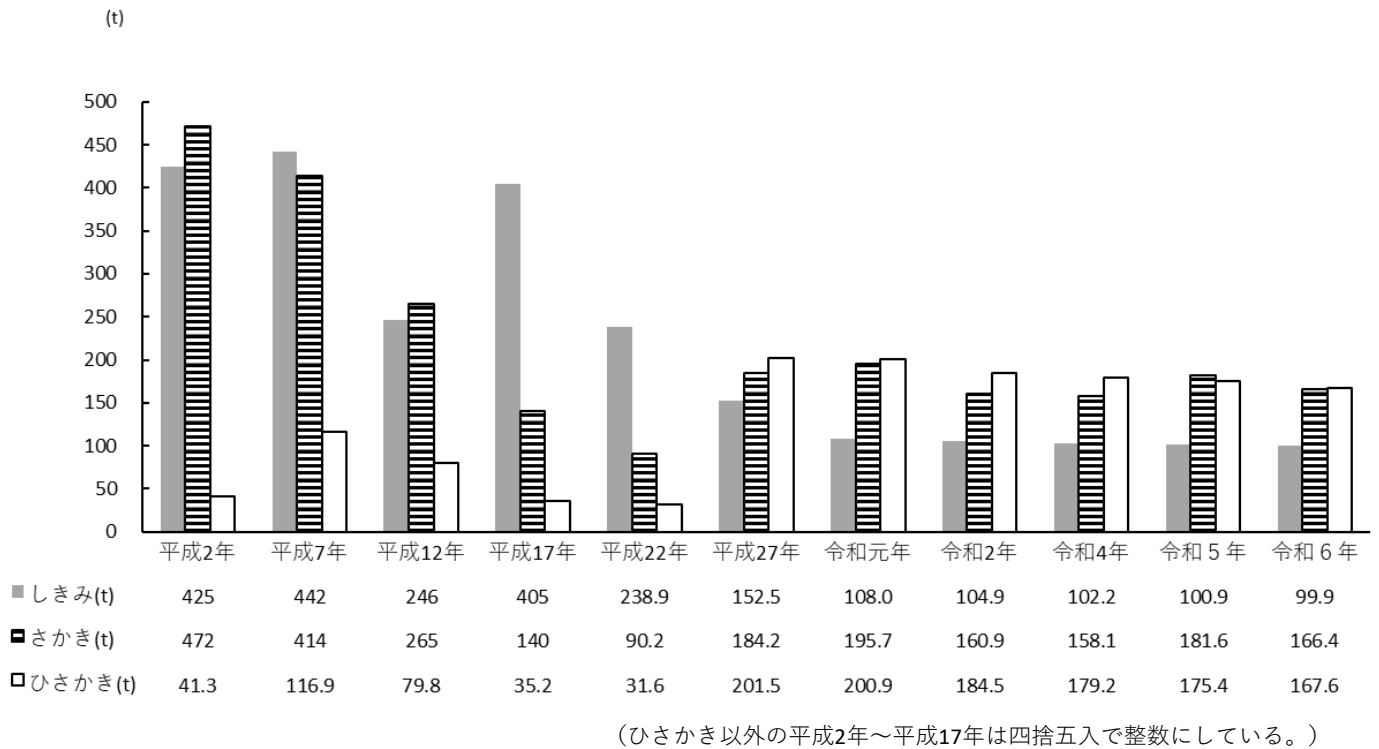
地域別・木炭生産量（令和6年）



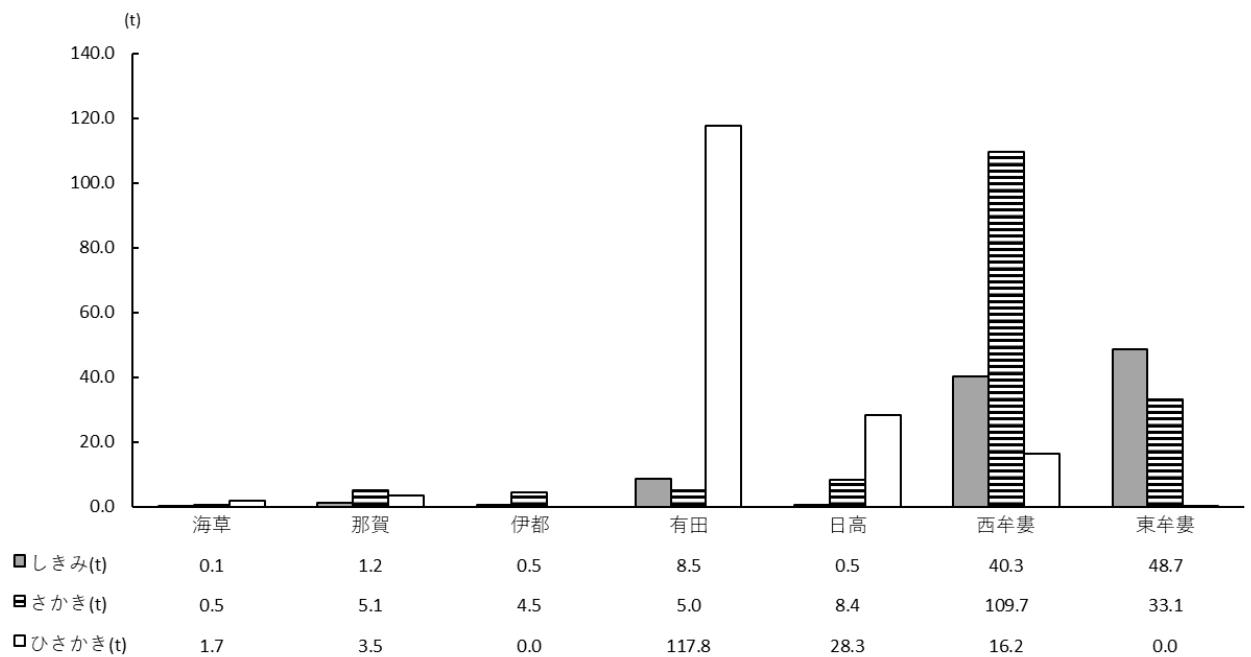
(県林業振興課業務資料)

木材による収入が減少する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

その他の特用林産物生産量の推移



地域別・その他の特用林産物生産量（令和6年）

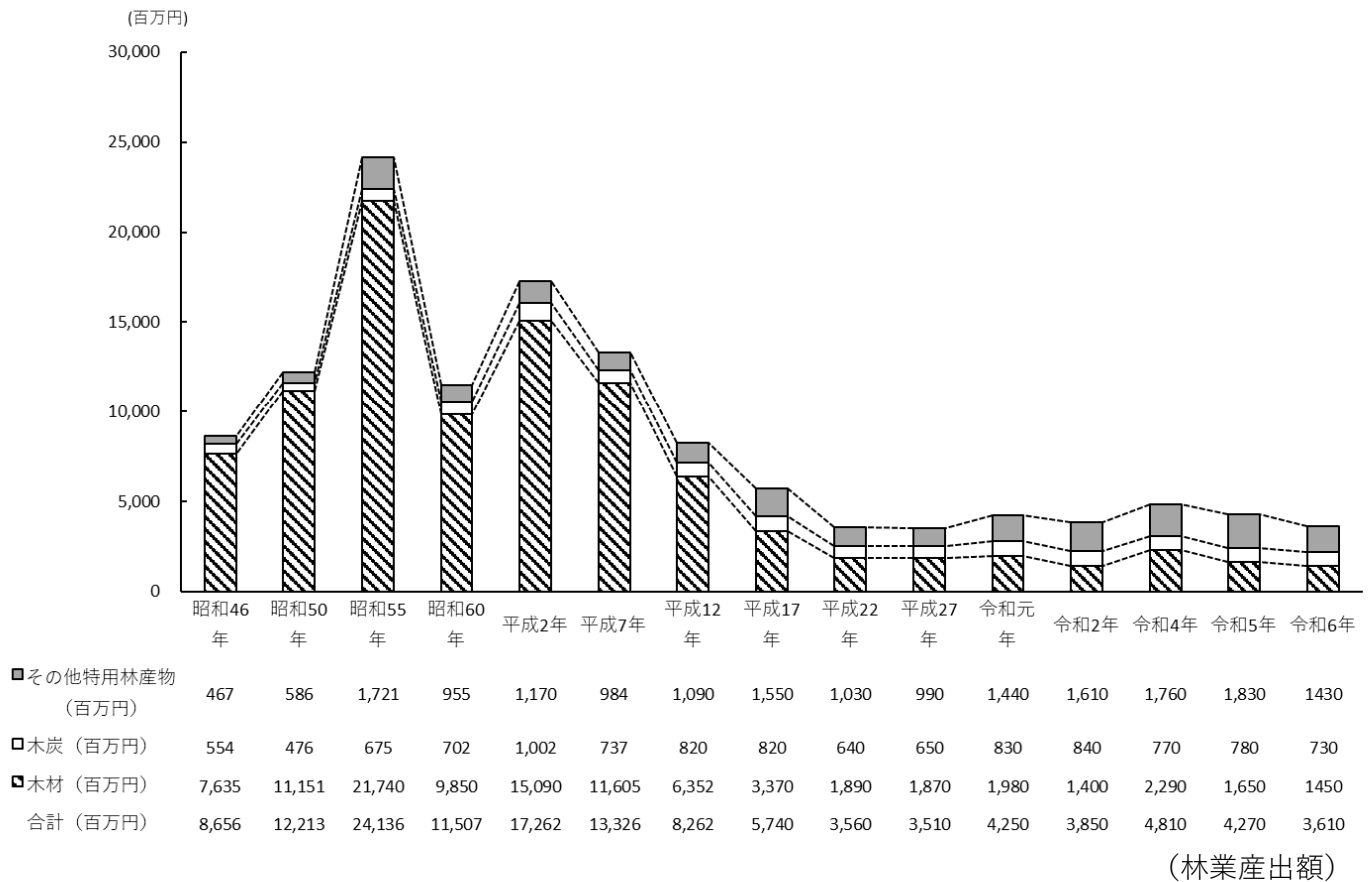


(県林業振興課業務資料)

4) 林業産出額

素材価格がピークであった昭和55年から減少後、平成27年以降からは増加傾向にあったが、令和6年は前年と比較して、6.6億円減少している。

林業産出額の推移



林業産出額

令和6年	全国	和歌山			全国順位		
	産出額 (千万円)	産出額 (千万円)	順位	シェア(%)	1位	2位	3位
総計	47,698	361	31	0.8	長野	新潟	北海道
木材生産	23,694	145	33	0.6	北海道	宮崎	熊本
特用林産物	24,004	216	25	0.9	長野	新潟	福岡

(林業産出額)